

# 2017 冬季アジア札幌大会

# NEWS LETTER

2013年7月発行

vol.1

## アジア地域の冬季スポーツの発展のために

第8回札幌アジア冬季競技大会  
組織委員会名誉会長  
日本オリンピック委員会 会長

竹田 恆和



冬季アジア大会は、アジア地域の冬季スポーツの発展のために日本から提案し、1986年3月に第1回大会、1990年3月に第2回大会がともに札幌で開催されました。

そしてこの度、日本では4回目となる冬季アジア大会が札幌市並びに帯広市にて開催されます。

アジア地域の若者のスポーツ、文化、そして、国際親善の発展のためにも、安全、安心、そして環境に配慮した大会計画に基づいた質の高いホスピタリティとおもてなしでアジア各国・地域から集うアスリートが最高のパフォーマンスを発揮してもらえよう準備を進めてまいります。

大会の成功には、地域の方々、北海道民の方々、そして、国民の皆様のご理解及びご協力が必要です。元気な日本の姿を自然豊かな北海道において、国際交流や多様な文化を取り入れ、新たな事に挑戦してきた街、札幌から発展著しいアジア地域に発信してまいりたいと思います。

大会を通じてアジア地域の輪が広がるよう大会成功に邁進してまいります。

皆様のご協力のほどお願いします。

## 白銀輝くステージで きらめくおもてなしを

第8回札幌アジア冬季競技大会  
組織委員会 会長  
札幌市長

上田 文雄



2017年。札幌に冬季アジア大会の開催とともに、熱いウィンタースポーツシーズンがやってきます。

札幌を舞台に大規模な国際スポーツ大会が開かれることは私たちにとって大きな誇りとなるものです。

札幌では冬季オリンピックやノルディックスキー世界選手権などの国際スポーツイベントを数多く開催してきており、これまでの経験を活かして日本オリンピック委員会（JOC）とともに大会成功に向けて準備を進めているところです。

開催期間中、アジアの国と地域から多くの方々が来訪されます。そのすべての方々に「北海道は素晴らしい。札幌に来てよかった。」と感じていただけるよう、真心のこもった“きらめくおもてなし”でお迎えしたいと考えています。

2017冬季アジア札幌大会を通じて、アジアの国と地域の絆が一層深まることを、そして世界中の人々の友情と連帯が、ここ北海道・札幌から広がることを信じています。

力を合わせて、素晴らしい国際スポーツ大会となるよう取り組んでいきましょう。

皆様のご協力をお願いします。

## トピックス

### ホームページを開設しました

今回の大会で開催するスキー、スケート、アイスホッケー、カーリング、バイアスロンの5競技から11種別の競技者の画像と共に、大会の歴史などについて紹介しています。

今後は、本大会に関する最新ニュースなどを、いち早く発信していきますので、ご期待ください。

<http://sapporo2017.org>

2017 冬季アジア札幌大会

検索



### 2017冬季アジア札幌大会の ロゴを募集しています！

「2017冬季アジア札幌大会」の開催機運を盛り上げ、大会イメージアップを図ることを目的として、大会ロゴを募集中です。選考会を経て最も優れた作品1点を採用します。大会を象徴し、魅力を発信できるロゴデザインが数多く応募されることを期待しています！

詳しくは、大会ロゴ募集ページをご覧ください。

<http://sapporo2017.org/logo/>

\*  
応募締切  
2013年  
8月30日(金)

## 過去の開催都市



2017  
札幌

- ① 第1回 (1986年) 札幌
- ② 第2回 (1990年) 札幌
- ③ 第3回 (1996年) ハルビン (中国)
- ④ 第4回 (1999年) カンウォン (韓国)
- ⑤ 第5回 (2003年) 青森
- ⑥ 第6回 (2007年) 長春 (中国)
- ⑦ 第7回 (2011年) アスタナ・アルマティ (カザフスタン)

## 2017冬季アジア札幌大会について

2017年に札幌市・帯広市において第8回冬季アジア大会が開催されます。

冬季アジア大会は、アジアの45の国と地域が加盟するアジアオリンピック評議会(OCA)が、アジア地域における冬季スポーツの発展を図ることを目的として開催する国際スポーツ大会です。

1986年に札幌で初めて開催された第1回大会では、参加が東アジアの7つの国と地域、選手数290人、種別数が7つほどの小規模な大会でしたが、前回の第7回大会では、参加が26の国と地域、選手数786人、種別数が11となり、今やアジア全域の国と地域が参加する非常に大規模な大会へと成長し、OCAが目的としたアジア地域での冬季スポーツの発展に対して大きな成果をあげてきました。

今回2017年に札幌(スピードスケートのみ帯広)で開催される第8回大会では、過去最大規模となる約30の国と地域、参加人数は約1,200人になると見込まれ、アジアの国と地域を代表するアスリートが一堂に会し、白熱の戦いが連日繰り広げられます。

この大会の開催が、観光、経済、ウィンタースポーツの振興など非常に多くの効果をもたらすものと期待しています。

### 開催種目

#### スキー

ジャンプ  
クロスカントリー  
アルペン  
フリースタイル  
スノーボード

#### スケート

スピードスケート  
フィギュアスケート  
ショートトラック

#### アイスホッケー

#### カーリング

#### バイアスロン

### 競技会場

- 札幌市内の各競技会場
- ※スピードスケート:帯広市(明治北海道十勝オーバル)

### 活動報告



#### 2013年(平成25年)6月11日(火)

大会組織委員会の第1回理事会を開催いたしました。  
当組織委員会の名誉会長および顧問の選任、公益財団法人への移行などについての議案が可決され、名誉会長には、日本オリンピック委員会(JOC)会長・竹田恆和氏、顧問には高橋はるみ北海道知事などの方々が選任されました。

#### 2013年(平成25年)6月19日(水)

大会組織委員会の第1回評議員会を開催いたしました。  
一部評議員・理事の交代および選任に係る人事のほか、各種関連規定についての議案が可決されました。

## 2017年冬季アジア大会の 開催に向けて

第8回札幌アジア冬季競技大会  
組織委員会 顧問  
北海道知事

高橋 はるみ



アジアのトップレベルの選手によるハイレベルな熱戦が繰り広げられる冬季アジア大会が、27年ぶりにここ北海道で開催されますことを大変嬉しく思います。

札幌市と帯広市を会場に、選手の皆様の研ぎ澄まされた技や、迫力とスピード感に溢れた熱戦を間近で観戦できる機会を得ることは、本道のウィンタースポーツの普及・発展に大いに寄与するものであり、とりわけ次代を担う青少年にとっては、かけがえのない貴重な経験となることでしょう。

ウィンタースポーツを志す青少年が、本大会への出場を目標に研鑽を積み、更には本大会をステップとして、翌年韓国で開催される平昌冬季オリンピックに向けて飛躍されることを願っています。

また、本大会の開催により、本道がアジアの皆様にとってより身近な地域として親しまれていくことを期待しています。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、日本中が盛り上がる中、冬季アジア大会まで3年余り。道といたしましても、大会に参加される選手・役員をはじめ、国内外から来道される皆様に、白銀きらめく本道の美しい自然や冬の味覚も満喫していただくとともに、各国の皆様と交流を深めていただけるよう、アイヌ語の「イランカラナテ（こんにちは）」におもてなしの心をこめて準備を進め、皆様の記憶に残る大会となるよう全力で取り組んでいきたいと思ひます。

## 冬季アジア大会の 帯広開催に向けて

第8回札幌アジア冬季競技大会  
組織委員会 顧問  
帯広市長

米沢 則寿



第8回目となる冬季アジア大会が、札幌市並びに帯広市において開催されることとなりました。

アジア全域の国と地域から選手が参加される国際大会が、札幌市とともに帯広市で開かれることは大変光栄なことであります。

帯広市ではスピードスケート競技が行われますが、その競技会場となる「明治北海道十勝オーバル」は、北海道におけるスピードスケートの拠点施設として、2009年9月に供用を開始して以来、ワールドカップや世界Jr.をはじめとする国際大会を経験してきており、大会成功に向け、日本オリンピック委員会（JOC）、北海道、札幌市とともに準備を進めてまいります。

また、2018年には韓国平昌で冬季オリンピックが開催されます。帯広市では日本を代表するスケート選手を講師に迎え、スケート王国として将来を担う青少年の育成事業にも力を入れており、冬季競技がますます盛り上がっていくことは、大変喜ばしい限りです。

帯広市を含む十勝19市町村は、食と農林漁業を柱とした「フードバレーとかち」を旗印にし、札幌市などとの広域連携により「国際戦略総合（北海道フード特区）」の指定を受け、アジアの食と農業の集積地を目指しています。今回の冬季アジア大会においても十勝・帯広の豊かな自然と安全で美味しい食、市民の温かいおもてなしで皆様をお迎えし、心に残る思い出深い大会になるよう取り組んでまいりたいと思ひます。

皆様のご協力をお願いします。

### 活動報告

1

## 大会PR仕様の路面電車が札幌市内を駆け巡りました！



2013年（平成25年）8月3日（土）から9月下旬までの約2か月間、札幌市電の新型低床車両「ポラリス」が2017冬季アジア札幌大会に彩られて札幌市内を走り回りました。

車体横にはシンプルに「2017冬季アジア札幌大会」の文字を配し、車内には大会の開催種目ごとのステッカー11種類と、大会開催時期である冬を感じる写真を用いたステッカーを一面に掲出。2017年の大会開催に向けて、まずはメイン開催地となる札幌市の皆様の間で、大会や各競技への関心が高まることを期待しています！



## スピードスケート会場「明治北海道十勝オーバル」

2017冬季アジア札幌大会においては、スキー（ジャンプ、クロスカントリー、アルペン、フリースタイル、スノーボード）、スケート（スピードスケート、フィギュアスケート、ショートトラック）、アイスホッケー、カーリング、バイアスロンの5競技11種別を行います。このうち、スピードスケートは、帯広市「明治北海道十勝オーバル」にて開催いたします。（スピードスケート以外の競技種目は、札幌市内の各競技会場での開催となります。）

### 帯広市の位置

帯広市は、北は大雪山系、西は日高山脈に囲まれた広大な十勝平野の中央部に位置する人口約17万人のまちで、広さは618.94km<sup>2</sup>です。

札幌から帯広までは、鉄道（JR）で約2時間30～50分、高速道路（道央自動車道～道東自動車道）を使って車で約3時間ほどの距離に位置します。

### 明治北海道十勝オーバル

平成10年2月の長野冬季オリンピックのスピードスケート500mにおいて、帯広出身の清水宏保選手が金メダルを獲得したことが契機となり、スピードスケート王国帯広・十勝に自然条件に左右されない通年利用可能な400mの屋内リンクをとのの音が高まり、平成21年にオープンした北海道で初めての屋内スピードスケート場です。スピードスケート競技に加え、中地多目的広場でのフットサルやテニス競技、外周を利用したランニングを行うことができます。



### 明治北海道十勝オーバル 過去の国際大会一覧

平成22年	1月 7日～ 1月10日	世界オールラウンドスピードスケート選手権大会アジア地区予選会
		2010アジアスピードスケート距離別選手権大会・帯広大会
平成22年	1月13日～ 1月17日	2010世界スプリントスピードスケート選手権大会・帯広大会
平成22年	12月 7日～12月12日	2010/11ワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会
平成24年	2月28日～ 3月 4日	2012世界ジュニアスピードスケート選手権大会・帯広大会
平成24年	3月 5日～ 3月10日	2011/12ジュニアワールドカップファイナル・帯広大会

### 活動報告 2

#### 国内(道内)での広報PR活動 [広報PRグッズを配布した主なイベント]

##### 2013年6月

・百合が原音楽祭

##### 2013年7月

- ・第39回サッポロ豊平川イカダ下り
- ・6時間リレーマラソン
- ・モエレサマーフェスティバル2013
- ・平成25年度 明治北海道十勝オーバル オープニングイベント(帯広)

##### 2013年8月

- ・大倉山ジャンプ競技場探検ツアー
- ・世界冬の都市フェスタ2013
- ・札幌市長杯サマージャンプ大会(宮の森&大倉山ジャンプ競技場)
- ・第16回清田ふれあい区民まつり
- ・大通ピヤガーデン西8丁目会場「THEサッポロピヤガーデン」
- ・2013市電フェスティバル

##### 2013年9月

- ・2013スポーツ王国北海道「スポーツチャレンジ教室」(函館)
- ・カーリング ソチオリンピック世界最終予選日本代表決定戦
- ・札幌市中央卸売市場 消費拡大フェア2013
- ・さっぽろオータムフェスト2013



明治北海道十勝オーバル オープニングイベント

### 活動報告 3

#### 海外での広報PR活動

##### 札幌/北海道タイトルラベルフェア

2013年8月24日(土)、25日(日)に、タイ(バンコク)のサイアムディスカバリーセンターで開催された観光PRイベント「札幌/北海道タイトルラベルフェア」で、2017冬季アジア札幌大会のグッズ配布など、広報PR活動を行いました。

プロモーションを行ったブースでは、札幌・北海道の観光資料を求めるタイの方々で賑わいました。



##### 世界カーリング連盟(WCF)総会

2013年9月2日(月)、デンマーク(コペンハーゲン)で開かれた世界カーリング連盟(WCF)の総会で2017冬季アジア札幌大会のPR用グッズ各種を配布しました。

なお、WCF総会では2015年に世界女子カーリング選手権を札幌開催することが正式決定いたしました。





# 2017 冬季アジア札幌大会

# NEWS LETTER

2014年1月発行

新年号

vol.3

## 2017年冬季アジア競技大会の開催に向けて

2017年の第8回冬季アジア競技大会が札幌市、帯広市で開催されることを大変嬉しく思います。

冬季アジア競技大会は1982年に日本オリンピック委員会 (JOC) が同地域の冬季スポーツの発展を期してアジアオリンピック評議会(OCA)に提案し、1986年に第1回大会が札幌で行なわれたのがその始まりです。その後、旧ソビエト連邦からカザフスタンなどが加入、東南アジアや西アジアからの選手団の参加も増え、大会規模は徐々に拡大しています。

わが国では1986年の第1回および1990年の第2回大会が札幌市で開催、2003年の第5回大会が青森県で開催されました。このたび10年ぶりに、わが国での開催となりましたが、昨今、冬季競技における日本選手の活躍が目覚ましいことから、人々の関心も高まっています。

こうした国際大会の開催は競技成績ばかりでなく、文化としてのスポーツの意義や歴史、文化的特性などを学ぶ機会にもなります。学びの環境は整いつつあり、学習指導要領の改定に伴い、体育理論が中学では各学年3単位時間以上、高校では各学年6単位時間以上、学ぶことが明示されました。2020年のオリンピック・パラリンピック東京招致が決定したことを受け、施設整備をはじめとする開催準備を進めているところですが、ハード面のみならず、ソフト面での対策も不可欠です。最も重要な課題のひとつとして、国民ひとりひとりのオリンピック・リテラシー(あらゆる方向から読み解く力)を高めていくことが挙げられます。スポーツを通じた教育のゴールは2017年でも、2020年でもありません。国の未来を見据えて、青少年の心身をたくましく育て、平和的で健全な国際交流の輪を広げてまいりたいと考えています。

冬季アジア競技大会の成功を心から祈念申し上げます。



第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会 顧問  
参議院議員 橋本 聖子

## トピックス

### 2017冬季アジア札幌大会ロゴが決定しました!

2013年(平成25年)6月19日~8月30日の約2か月間に渡り、大会ロゴの一般公募による作品募集を行い、日本全国から173件のご応募をいただきました。選考会による厳正な選考の結果、(株)須田製版デザイナー・細川 耕司さんの作品が採用となり、今後、大会エンブレムとして本サイトのほか大会広報活動など様々な形で使用されます。

#### ロゴ説明

ロゴ全体の形状は、北海道の形を表しています。また、北の夜空に光る「北極星」、「雪の結晶」や「冬の風」もイメージしたものです。外側(円弧)の青色は、寒い冬を象徴し、内側(中心のOCA SUN(アジアオリンピック評議会のシンボル))は熱い情熱を象徴しており、寒い冬であっても熱い情熱が内に秘められていることをイメージさせます。

5本の円弧は、今大会で開催される5つの競技(スキー、スケート、アイスホッケー、カーリング、バイアスロン)を意味し、スピード感・躍動感ある「アスリート(競技者)」が「滑走」するイメージを表現し、これらを組み合わせたものとなっています。また、もう1つの意味として、アジアの5つの地域(中央アジア、東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア)から人々が開催地(札幌、帯広)へ結集し、協力して大会を作り上げていくという意味。更には、中心にあるOCA SUNが象徴するOCAの元へアジアの5つの地域が結集して、協力するという意味も込められています。

円弧は、中心へ集まる以外に外へと広がるともとれる形状となっており、北海道から広がる(発し、発展する)冬季スポーツ大会となることを願ったものです。

大会ロゴについて詳しくはこちら>> <http://sapporo2017.org/emblem>



2017  
SAPPORO  
ASIAN WINTER  
GAMES

# 私達も応援します！ 2017冬季アジア札幌大会

～2014ソチオリンピック、そして2017冬季アジア札幌大会へ～

大きな国際大会の開催、日本選手の活躍への期待が高まる中、上田札幌市長と大会ロゴ決定発表のタイミングで駆けつけていただいた女子アイスホッケー日本代表 スマイルジャパンの平野由佳さん、藤本那菜さんに、冬季アジア札幌大会やオリンピックへの思いを語っていただきました。



2013年11月20日(水)札幌市役所内にて

**上田** 2017年には冬季アジア札幌大会の開催が決定し、とても光栄に思っています。また、2020年には東京オリンピックも開催されます。自分の街や国で国際スポーツイベントが開催されることについてどう思われますか？



平野 由佳さん  
FW: 背番号17  
三星ダイオードペリグリン所属  
札幌在住

**平野** スポーツで頑張っている選手や子どもたちに大きな目標ができ、とても良いことだと思います。海外に対して、札幌や日本の良さをアピールする良い機会でもあります。外国人選手と子どもたちが交流できる機会があるといいですね。

**藤本** 今までスポーツを見る機会がなかった方々にも注目してもらえる良い機会だと思います。スポーツは人と人が触れ合い、支えあうことが不可欠です。子どもたちがそこで自分の夢や目標に向かって頑張ることは、個人の成長のほか、日本を元気にする力にも通じることだと思います。



藤本 那菜さん  
GK: 背番号30  
ボルテックス札幌所属  
札幌在住

**上田** 札幌は、1972年の冬季オリンピックをはじめ、数々の国際大会を運営してきた実績があります。また、市民の活躍がオリンピックの成功に多大な貢献を果たしたことを高く評価され、札幌市はIOCから表彰をうけた経験もあります。大都市でありながら毎年平均6メートルの雪が降る札幌では、市民は雪や冬のスポーツを子どもの頃から楽しんでいきます。まさに札幌は、国際大会にふさわしい街だと思います。

**上田** お二人とも厳しい練習を積み重ねて、ここまでこられたと思います。アイスホッケーへの思いを聞かせてください。

**平野** アイスホッケーは団体競技なので、一人では何もできません。全員で一つの目標に向かって、辛い練習や努力を積み重ねていく。試合ではお互いにミスをカバーしあい、良い結果が出るとみんなで喜び、悔しいときはみんな泣く。チームスポーツの素晴らしさを感じます。

**藤本** アイスホッケーは、スピード感があり迫力あふれるゲーム展開が魅力。「氷上の格闘技」ともいわれるほど激しいスポーツです。観戦してもプレーしても面白いスポーツですので、多くの方々に興味を持っていただければと思います。

**上田** 来年はいよいよソチオリンピックです。出場へ向けた意気込みや思いを聞かせてください。

**平野** 小学生のとき長野五輪をテレビで見ても、この舞台に立ちたいと思いました。アルバイトをしながら競技を続け、やっとの思いでつかなかったオリンピック出場権。小さな頃からの夢まで、あと少しです。チームの目標は「メダル獲得」。目標に向かって選手全員で日本代表にふさわしいプレーをしたいと思っています。

**藤本** 多くの方々から支援をいただき、恩返しをするためには結果を残すことが絶対だと思っています。私がやるべきことは、GKというポジション上、視野を広く持ち、常に冷静に判断し、「チームが勝つために何ができるのか」を考え行動すること。本番も平常心で臨み、結果を残したいと思っています。

**上田** みなさんの活躍を見て夢を抱き、世界へ挑む。そんな子どもたちが、札幌からたくさん現れてほしいですね。ソチオリンピック、そして冬季アジア大会での活躍を楽しみにしています。本日はありがとうございました。



(敬称略)

2013年11月29日(金)北海道新聞 朝刊掲載(対談内容の詳細は、大会ホームページのニュースをご覧ください。)

## 活動報告

### 大会ロゴ発表・表彰式

2013年(平成25年)11月20日(水)14時から札幌市役所にて、2017冬季アジア札幌大会ロゴ発表・表彰式が行われました。

表彰式では、組織委員会会長である上田札幌市長より表彰状の授与が、また、プレゼンターとして駆けつけてくれました女子アイスホッケー日本代表(愛称:スマイルジャパン)選手の平野由佳さんと藤本那菜さんより、賞金目録と大会グッズがそれぞれ制作者へ授与されました。



### [広報PRグッズを配布した主な国内イベント]

#### 2013年10月

- ・第25回サマーバイアスロン日本選手権大会(札幌)
- ・子どもたちの職業体験イベント「ミニさっぽろ」
- ・カーリング普及イベント「カーリングは楽しい！」
- ・サッポロヘルス&ビューティフェア2013

#### 2013年11月

- ・ジャパンカップスピードスケート競技会 第2戦(札幌)
- ・第81回全日本アイスホッケー選手権(札幌)

#### 2013年12月

- ・ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo
- ・SORAこそぞでフェスティバル2013
- ・ショートトラック日本代表選手選考競技会(大阪)

### 大会PRパネル展示

2013年(平成25年)12月6日(金)～12月25日(水)までの期間、北海道空港線の協力を受けて、新千歳空港(国内線2階センタープラザ)に、2017冬季アジア札幌大会のPRパネルを展示しました。



2017 冬季アジア札幌大会  
NEWS LETTER

編集・発行

一般財団法人 第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会／札幌市  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目伊藤ビル6階  
TEL: 011-242-2017 FAX: 011-215-1009  
<http://sapporo2017.org>



私たちは toto 助成を受けています。